



251

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2025年2月23日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

「気候変動を止めたい」弁護士の情熱

23日(日)=1、3面

迫る



毎年のように起きる猛暑、さらには大雨による被害……。これらが温室効果ガス排出による気候変動によるものである可能性が高い、というのはよくニュースでもみかけます。今回は、気候変動を食い止める活動を進める弁護士、浅岡美恵さん(77)＝写真＝を取り上げます。

「気候ネットワーク」代表として温室効果ガス削減などの啓発、政府への政策提言、国際会議などでのアピールを続けています。今注力しているのが、中学生～20代の若者が火力発電関連事業者10社を相手取り温室

効果ガスの大幅削減を求めた訴訟です。

浅岡さんは弁護士バッジをつけてから、スモン訴訟、豊田商事事件、水俣病訴訟、消費者問題など一貫して被害者の側に立ち、企業や国の責任を追及してきました。温暖化問題に関わるようになったのは、1992年の地球サミットへの参加がきっかけでした。

「環境問題は人権問題」と再認識し、97年に京都で開かれた気候変動枠組条約締結国会議(COP3)の成功に向けて奔走しました。異常気象が続く昨今、活動の持つ意味はますます大きくなってきています。

ウクライナ侵攻3年

24日(月)=1、3面

ロシアのウクライナ全面侵攻は24日で丸3年です。民間人の死者は1万2000人を超え、戦死者数もそれぞれ推定で7万人超などとされています。

戦闘の長期化で双方が疲弊する中、停

戦を目指すトランプ米政権がロシアとの交渉に乗り出しました。果たして、持続可能で公正な平和は実現するのでしょうか。現地の人々の思いと国際政治の動きを伝えます。



ロシア兵の遺品を調べる戦死遺体回収のボランティア



オーストラリアで、16歳未満の子どもにSNS(ネット交流サービス)の利用を禁止する法律ができました。犯罪に巻き込まれたり、健康を害したりすることを防ぐのが目的ですが、子どもたちの権利を侵害するとの

論点 16歳未満へのSNS規制

28日(金) || オピニオン面

批判もあります。子どもとSNSをめぐる状況は、日本でも共通の問題です。オーストラリアの臨床心理士、日本の児童精神科医らに、法律ができた経緯や国内での実効性や課題を話してもらいました。

特集 ワイド

海峡を越えた「孤独のグルメ」

26日(水)=夕刊2面

「孤独のグルメ」っていうドラマ、知ってますか——。韓国でそう尋ねると、多くの人が日本語でこう返してくれます。「ゴローさん!」「腹が、減った!」。俳優の松重豊さん＝写真＝演じる主人公・井之頭五

郎の愛称と、その名ぜりふです。劇中に登場した数々の「ゴローの店」は、日本で客足が絶えませんが、韓国に出張したゴローが舌鼓を打った飲食店もにぎわい、新作映画でも新たな「聖地」が生まれています。



竹橋の窓ばか

編集後記

みんな大好きクロスワードパズル。ご存じでしたか? 日本で初めてサンデー毎日の925(大正14)年3月1日号に掲載されてから、今年でちょうど100周年です! これを記念して、歴史や裏話を紹介するオンライントークイベントを開催します。参加者のみなさんも一緒にヒントづくりにもチャレンジできます。クロスワードがもっともっと楽しくなる90分。ぜひQRコードからお申し込みください。(小野田香織)

